



小川町議会だよりは

見出しに「コダワル！」

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

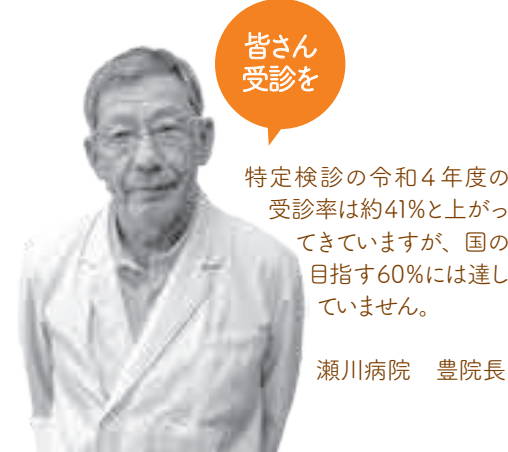


親としては、重度心身障害者を介護しながらの会計手続きは大変でした。令和6年度より現物給付になることで、利便性が向上して大助かり！

国民健康保険 特別会計決算

新型「コロナウイルス」感染症の影響は「2類相当」最終年度における健康・医療

**Q** 現在の人間ドックと併進して脳ドックを実施する考えはないか。  
**A** 県内でも人間ドックとの併進ドックとして実施している市町村はありますが、予算上、補助額2万円を据え置く場合に自己負担額が増えてしまい、人間ドックの受診率が下がってしまう恐れがあります。過去に庁内でも検討した経緯がありましたが、「特定健診」と「がん検診」を併せて受診することで、脳疾患を起因とする生活習慣病の予防に効果があると捉えているので、引き続きこれらの併用受診に取り組んでいきます。



皆さん受診を

特定検診の令和4年度の受診率は約41%と上がってきていますが、国の目指す60%には達していません。

瀬川病院 豊院長

特定健康診査の受診率向上

**Q** さらなる受診率向上につながる方策等は。  
**A** 40歳から74歳の被保険者が対象で「内臓脂肪型肥満」に着目した健康診査を実施し、生活習慣病を予防することを目的としています。受診率向上の取組として、ポスター掲示・のぼり旗の設置をはじめ、町公式X(旧ツイッター)の活用や、職員が啓発用ポロシャツ・ジャンパーを着用するなどして努めています。

また「ナッジ行動理論」を応用し、対象者に即したアドバイスが付された勧奨ハガキを送付し、受診を促しています。令和5年10月31日時点の受診率は11%となっています。



介護保険 特別会計決算 包括的支援の取組

**Q** 特に「ケアマネージャー」への支援や、取り巻く現状は。  
**A** 地域包括支援センター(社協)では、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう多職種①と

の連携を図っています。個々の高齢者の状況や変化に応じ継続的な支援をするため、ケアマネージャーに対して個別の指導や相談、支援困難事例等への助言を行っています。

収入未済額の増加

**Q** 令和4年度は前年度比で10%近く増えてしまっているが、背景等は。  
**A** 一般会計の個人町民税と同様に「コロナ禍における給付金の影響」で、所得の増加に伴い課税額も増えてしまったために、納付が



特定健診のご案内 小川町HP

ポロシャツ・ジャンパーを着用しているのは健康福祉課に限りません。クールビズ・ウォームビズにもつながる取組で啓発に努めています。

訪問徴収の頻度「増」

**Q** 不納欠損額は減少したが、収入未済額は増加している。背景等は。  
**A** 精神疾患や認知症、経済的困窮等の課題を抱えている場合は、解決まで時間を要するケースも多く、役場内の他部署・医療機関等との連携が必要な事案が多くなってきています。

**A** 夜間や休日に実施した納付相談・臨宅徴収・電話での催告などの成果として、不納欠損の減額につながったと考えています。一方、収入未済額の増加は、新型コロナウイルスの影響による訪問徴収等の減少が要因と捉えています。今後は感染状況などを総合的に判断し、徴収の機会・頻度を増加させ、収入未済額の圧縮に努めます。

その他の条例改正

受給者の利便性向上へ 重度心身障害者医療費の現物給付

**Q** 条例改正に至った経緯等は。  
**A** 令和4年度に埼玉県が、県の医師会・歯科医師会・薬剤師会と、県内医療機関を受診した場合、「現物給付②」を行うこととする協定を結びました。町としても、この流れに伴って、現物給付の実施の可能性について検討を続けてきました。町全体の事業を精査する中で、令和6年度からの実施に向けて改正をお願いするものです。

**Q** 当町における対象者数や負担額等は。  
**A** 令和4年度の実績として、対象者は573人で医療費の合計は4966万円となっています。

また、今条例改正に伴う財政負担増の見込みは、年間で給付額890万円・審査支払い手数料70万円となり、合計で960万円程度の増額を予定しています。